



幼稚園だより 9月号

令和4年9月1日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

H P <http://www.chuo-kyu.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

<2学期の始まりにあたって>

園長 山口 晃司

9月1日 第2学期が始まりました。3年ぶりの行動制限の発出されない夏休みを、様々な過ごされたことと思います。園からの発信を受けて、セミの観察を楽しまれたご家庭やルクミーで写真を送っていただいた方、ありがとうございました。お送りいただいた写真をまとめて、セミの観察図鑑を作らせていただきました。自分たちの住んでいる身近な場の自然を知る機会になったと思います。また、いただいた暑中見舞いからも、ご家族で楽しく有意義な夏休みを過ごされたことが分かりました。子どもたちの様々な経験を受け止め、2学期の教育活動に生かして参ります。学級の友達の前で、夏休みの楽しかった経験を発表したり、ごっこ遊びに再現したりすることを通して、自分の考えや思いを相手に伝えたり、相手の話を理解して一緒に遊びを進めたり等が、まさに、「遊びを通して学ぶ」という幼児期の特性を踏まえた教育の姿です。心も体も成長した子どもたちとの園生活が楽しみです。さて、2学期は、運動会や小学校と合同の展覧会、遠足、音楽会等々があります。2学期は、1年間の園生活の中で充実期（ホップ・ステップ・ジャンプの3段ロケットのステップ）にあたります。毎日を元気に、健康的に規則正しい生活を送り、園でたくさん遊んで・学んでいかれるようにと願っています。

ところで、夏休み中の教職員は、2学期に向けて、英気を養うと共に様々な研修会に参加し、専門性の向上に励みました。私も、全国幼児教育研究協会東京大会や特別区立園長・副園長専門研修、東京都公立幼稚園・こども園研究会夏季研修会、東京都国公立幼稚園こども園長会夏季研修会等々に参加し、学ぶことができました。これらの研修から、ぜひ保護者の皆様にもお伝えしたいと思うものがありましたので紹介します。

中央教育審議会初等中等教育分科会幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会の委員 鈴木 みゆき先生から「生活リズムを整える」ことの大切さのお話を伺いました。コロナ禍での子どもたちの生活は、ネット利用時間が増えて、生活に影響が出てきている。特に大人も子どもも遅寝になっている現状があると。必要と考えられている人間の睡眠時間は、幼児期（3～5歳）で10～13時間。大人（26～64歳）で7～9時間。寝不足の脳への影響は、情緒が不安定になり、イライラしたり、機嫌が悪くなったりする。集中力記憶力が低下し、注意散漫になる、免疫力が低下する等の結果、キレる。意欲が沸かない。マイナス思考…。そこで、睡眠時間の確保。生活リズムを整えることが健康に過ごす決め手であると。保護者（大人）も子どもも健康に過ごせることが、何より大切です。園生活の充実がその後の小学校以降の学習・学力向上に影響していきます。子どもたちが充実した2学期を送り、主体的・意欲的に行動するためにも、各ご家庭で今一度、生活リズムを点検していきましょう。2学期も園の教育活動に、ご理解ご協力どうぞよろしくお願いたします。

<各学年のねらいと主な活動>

年少組	年中組	年長組
○幼稚園生活のリズムを取り戻し、身の回りのことを自分なりに行おうとする。 ○自分のしたいことや興味をもったことをしながら遊ぶことを楽しむ。 ○先生や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。 <主な活動> ・敬老の日の葉書作り ・色水遊び ・かけっこ ・先生や友達と様々な動きを楽しめるリズム ・歌「とんぼのめがね」	○幼稚園生活のリズムを取り戻し、身の回りのことを自分から行う。 ○久しぶりの登園を喜び、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○友達と一緒に走ったり踊ったりし、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 <主な活動> ・敬老の日の葉書作り ・かけっこ ・友達と一緒にリズムを感じながら踊る楽しさを味わえるリズム ・歌「しょうじょうじのためきばやし」	○生活の見通しをもち、自分たちでできることに進んで取り組む。 ○自分の考えを相手に伝えたり相手の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しむ。 ○学級の課題に向けて、活動を進めていく中で、自分の力を発揮したり、友達と力を合わせたりする楽しさを感じる。 <主な活動> ・敬老の日の葉書作り ・周回リレー ・友達と気持ちを合わせて取り組むパラバルーン ・歌「おじいちゃんもおばあちゃんも」など

